

ずっと<未来へつづく>、もっと<活気に満ちた>、新しい熊野の「里」を創ろう。

熊野倶楽部通信

vol.01

Zutto Motto Kumano club Paper

2008年7月1日発行

# zutto motto

Working together to create a more vibrant and sustainable KUMANO no SATO. **ずっと、もっと。**

私  
た  
ち  
は、  
月  
と  
と  
も  
に  
生  
き  
て  
き  
た  
。

みんなで新しい「里」を創る。  
それは、私たち現代人の  
今後の「生き方」を探ることもある。

この土地の夜空に浮かぶ月が、こんなにも  
圧倒的な存在感で私たちを魅了するのはなぜなのか。  
そして、いにしえの時代にここを訪れた多くの人々は、  
いま「私」の目の前にあるこの同じ月を、  
一体どのような気持ちで眺めていたのだろう。  
聞けば、この土地には、今でも月や太陽の動きを見ながら、  
「旧暦」の時間に則して生活をする人が多くいるという。  
歴史ある土地、熊野で垣間見ることのできる、  
自然や宇宙のリズムに合わせた生活。  
それは、猛スピードで生きてきてしまった現代人の  
今後の「生き方」の大きなヒントとなるにちがいない。

里創人  
**熊野倶楽部**  
Resort-KUMANO CLUB



Sato zukuri bito

人の善い思いがたくさん集まると場が善くなり、願いを実現します。熊野という土地が、日本人の心を原点に戻す場所になればいいと思います。

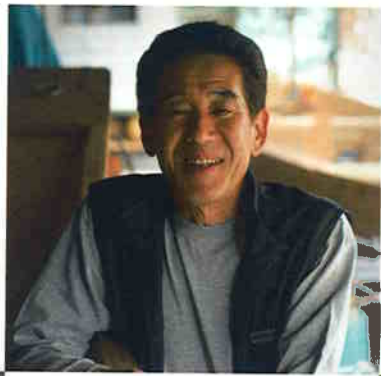
熊野市井戸町  
松本 欣士さん(権福宣)



Sato zukuri bito

こんだけ住み良い町もないんちゃう？海は透明で美しいな。漁は闇夜がいい。だんだん月が細く青くなる頃は休みな。

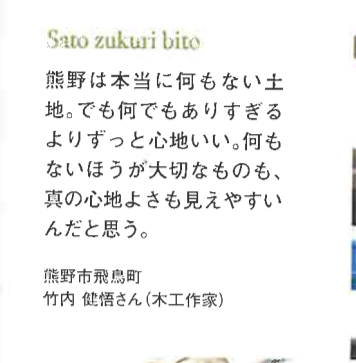
熊野市二木島町  
川下 博嗣さん(漁師・奈納料理人)



Sato zukuri bito

田舎だから何もないけど、逆を言えば、都会にないものは何でもある。大好きな熊野のためにやりたいことがいっぱいある。時間が足りないくらい。

紀宝町北松杖  
谷上 嘉一さん(舟大工)



Sato zukuri bito

熊野は本当に何も無い土地。でも何でもありすぎるよりずっと心地いい。何も無いほうが大切なもの、真の心地よさも見えやすいんだと思う。

熊野市飛鳥町  
竹内 健悟さん(木工作家)



Sato zukuri bito

昔は、雲行きで天気を見たもんでな。よう当たってたけど、今は雲ではわからん。冬至を10日過ぎたら、冷や(寒く)なるとも言ってたな。

熊野市五郷町  
瀬戸 嘉代子さん



Sato zukuri bito

10年間外へ出てたけど、やっぱり熊野がいいね。何より人があったかくて人間味がある。自然の中で暮らすと、子供との距離もぐっと近くなる。

御浜町阿田和  
垣内 清明さん(みかん栽培)



Sato zukuri bito

子供たちを集めて寺で勉強室を開いています。地域の歴史や風習、習字や絵、座禅を教えながら、人と一緒に楽しく生きる大切さを教えたいんですわ。

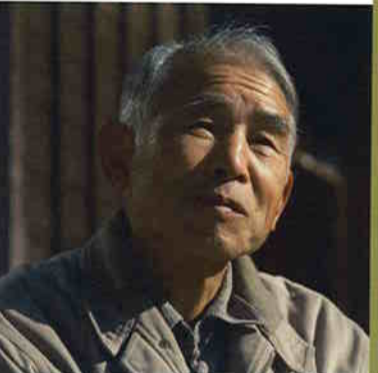
熊野市飛鳥町  
北 孝三さん(住職)



Sato zukuri bito

一度顔見知りになると人情は熱い。それが熊野人。おっちゃん達と若い人達が一緒になって酒を飲んだり、世代を超えたつながりが増えるともっといい。

御浜町阪本  
亀田 昭治さん(紀州犬・熊野古道保存)



Sato zukuri bito

田舎には都会人が持ち得ない知恵がある。それは自然と共生する知恵。これからは田舎人がその知恵を発揮して広めていかなければなりませんわ。

熊野市五郷町  
尾中 鏡治さん(林業家)

ZUITO MOTTO | 熊野倶楽部通信

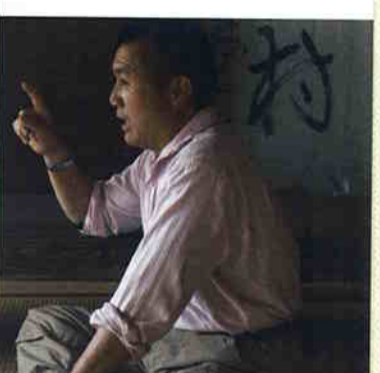
私たちが、  
里創人になる。



Sato zukuri bito

故・福田越夫元首相はここ赤倉の地を日本のチベットと言ったとか。熊野は癒しの原点。人間にとって何が一番いいのかを考えさせられる場所だね。

熊野市育生町  
中平 孝之さん(あまご養殖・飲食店経営)



Sato zukuri bito

熊野は田舎。何もない場所。とにかく一度来てゆっくりしてみないと良さがわかりにくい。ゆっくりしてもらおうと、しみじみとわかるのだと思う。

熊野市神川町  
坂谷 絃義さん・窓司さん(那智黒石)  
(写真右から)



Sato zukuri bito

熊野はほんとに宝の山。いつのまにかNPOやボランティアに携わるようになったけど、自分たちで手を動かして、何かをつくりだすのは楽しいね。

御浜町阿田和  
植村 令子さん(みかん栽培)



Sato zukuri bito

大人が祭りで竹笛吹いてるのを見て憧れて、それから竹笛にやみつき。熊野は魚もうまいし、隣近所とも親戚みたい。やみつきになる土地や(笑)。

熊野市井戸町  
上田 昭弘さん(竹笛作り)



Sato zukuri bito

生まれてからほかへ行っただけがない。熊野は自然がいいね。毎朝犬を連れて浜へ行く。シートもいらさない、石の上にじかに座るの。癒されるのよ。

熊野市木本町  
向山 久子さん(ガラスアート)



Sato zukuri bito

かつて、救いを求めて詣でるすべての人々を受け入れたように、現代の熊野も、訪れる人々を優しく包みこむような土地でありたいと思いますわ。

熊野市有馬町  
和田 生さん(神社総代)



Sato zukuri bito

熊野へは、友達の家に遊びに行く感覚で来てもらったからええ。お客さんに対しても遊木弁でしゃべってあげるほうが面白い。ほな行くで！ってな。

熊野市遊木町  
濱中 一茂さん(漁師)



Sato zukuri bito

生まれも育ちも熊野。熊野が好きやね。美味しいもん食べて、好きなことやって、77だけど医者も薬もいらんよ。伊勢型紙を彫る手も震えんね。

熊野市木本町  
西垣内 弘さん(伊勢型紙)



かつての日本には「里」がありました。山あいに人家が集まる集落があり、そこに住む人々は互いに助け合い、自然と共生しながら心豊かに暮らしていました。

「里を創る人」と書いて、「さとづくりりびと」と読みます。求む、里創人。この土地に集うすべての人が「里創人」。熊野を訪れてくれる人、熊野に惚れこみ移住してきてくれた人、まだ熊野へ来たことはいないけれど、いつか訪れてみたいと思ってくれている人。そして熊野で生まれた人、熊野で育った人。人々や自然、そして熊野という土地を愛する心と、あなたの笑顔さえあれば、誰もが「里創人」になれます。年齢も関係ありません。趣味や特技もいりません。熊野の道ばたですれ違う、すべての人が「里創人」です。目と目を合わせて「こり微笑み、みんなが挨拶をかわす。それだけでこの土地は、素敵な「里」に近づくことができるのです。

住民も来訪者も、すべての人が「里創人」になる。この土地に、新しい「里」をみんなで作る。

### Resort-Kumano

人間は何でも作れると思ってきたけれど、こんな景色、熊野の自然以外の何に作れるのか

熊野市井戸町  
丘の上から見える夕暮れの山



### Resort-Kumano

苔むした石畳の参道脇にある禊場。熊野杉のこの森の中に、神の姿を見た気がした

熊野市井戸町  
大馬神社 禊場



### Resort-Kumano

今一番行きたいのは、名前すらない景勝地。誰にも教えることなく、独り占めにする贅沢

熊野市金山町  
県道152号線から見下ろした風景

### Resort-Kumano

目の前に見えるのは、つくりものではない、100%天然のおお色とみどり色としり色

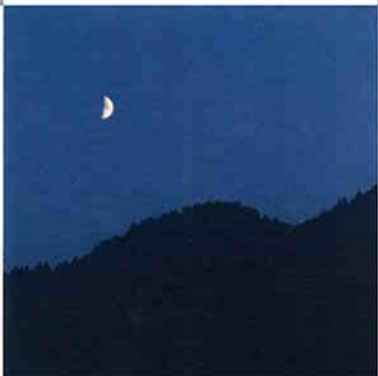
熊野市飛鳥町  
大義院付近から見える山



### Resort-Kumano

熊野の月は道しるべ。人生を旅する者に、行くべき道を照らし出してくれる

熊野市五郷町  
日没後の紺色の空と月



### Resort-Kumano

一生忘れたくない光景ほど、心のフィルムに焼きつけておきたい

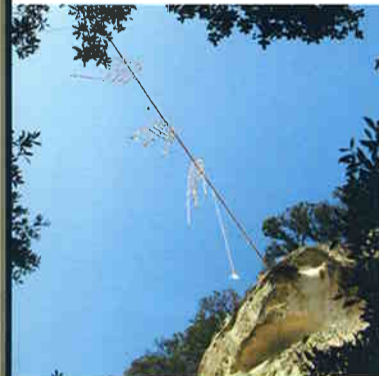
熊野市井戸町  
獅子岩付近 夜明けの海の空



### Resort-Kumano

ここは巨岩信仰の地。社も狛犬もない神社。人々はこの大きな岩を古代から崇め続ける

熊野市有馬町  
花の窟神社 お網掛け



zutto motto | 熊野倶楽部通信

# この場所が、 里創人になる。

### Resort-Kumano

景観だけが素晴らしいのではない。千枚田は、自然との共生を実現する先人たちの知恵の宝庫

熊野市紀和町  
丸山千枚田



### Resort-Kumano

この土地の陽射しは、一年中あたたかい。みかんを食べると太陽に感謝したくなる

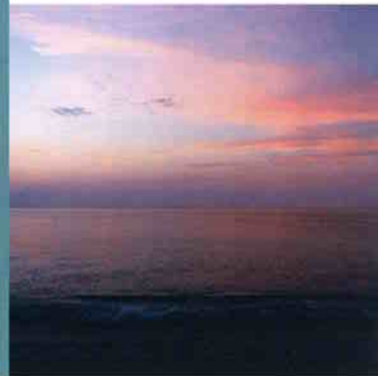
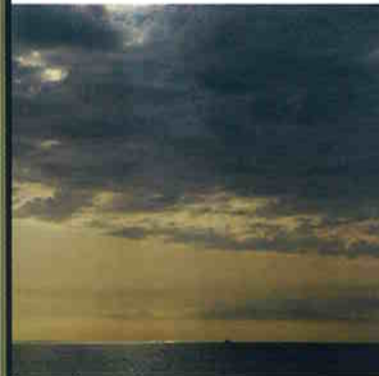
御浜町阿田和  
青空に映える橙色のみかん



### Resort-Kumano

ガイドブックだけを頼りにしては、出会えない光景。今、神が降りてくる

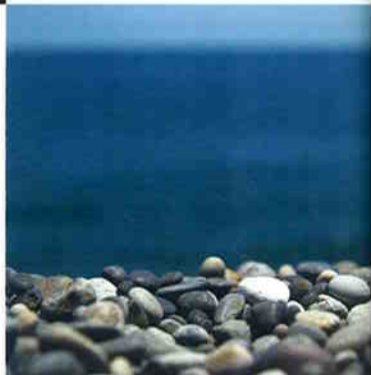
熊野市井戸町  
獅子岩付近 雲間から射す光



### Resort-Kumano

この海は音がいい。打ち寄せる波の音に丸石の転がる音が混ざり、心まで洗われてゆく

熊野市木本町  
七里御浜 朝焼けと白波



### Resort-Kumano

夜も明るい都会では、夜が怖い時間であるということ、つい忘れがちになる

熊野市有馬町  
山に沈みゆく月



### Resort-Kumano

この息をのむほど見事な熊野の絶景を、何十年、何百年先まで残せるだろうか

熊野市波田須町  
徐福の里付近 棚田の夜明け



### Resort-Kumano

“ひらいこさん”という言葉を目にした。その姿を目にする機会も、少なくなったという

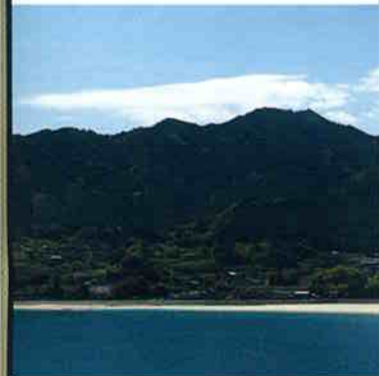
熊野市木本町  
七里御浜 青い海と丸石



### Resort-Kumano

人が行きたがる所より人が行かない所へ行きたがる人たちに、きっと好かれる場所

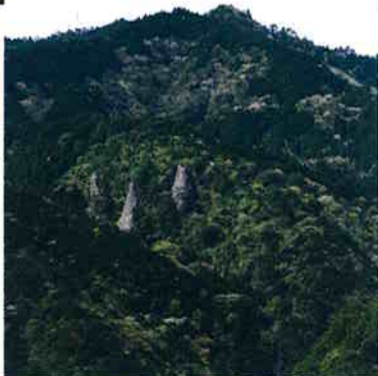
熊野市木本町  
国道42号線の先に見える夕刻の月



### Resort-Kumano

外国と見まがうほど美しく白い砂浜、エメラルドグリーン色の海。ビーチ・リゾート

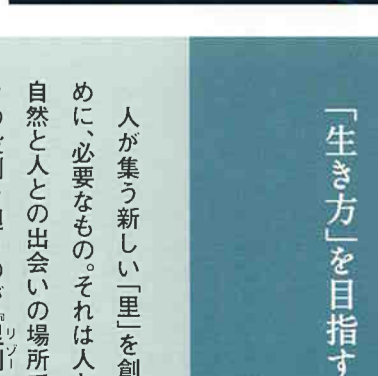
熊野市新鹿町  
新鹿海水浴場付近



### Resort-Kumano

田舎は何もなく退屈だと思われがちだけど、何時間眺めていても退屈しない風景がある

熊野市育生町  
宝集乃の村付近から望む三枚岩



- ふじ集いの郷
- いこ集いの郷
- のどか長閑の郷

人が集う新しい「里」を創るために、必要なもの。それは人と人、自然と人との出会いの場所です。その役割を担うのが「里創人」熊野倶楽部。都会にないものなら山ほどある、この熊野は、今でも月の満ち欠けを頼りに漁業や林業が行われるなど、自然のリズムで生きる「旧暦」を身近に感じる土地。この土地の大自然を舞台に、ここに住む人々が保有する自然と共生するためのさまざまな知恵や、熊野独特の文化、歴史、食、趣味をプログラムにして、より多くの「里創人」に教え、体験してもらおう。それをきっかけに「里創人」同士の心の交流を育みます。「里を創る人」と書いて、「リゾート」と読みます。この「里創人熊野倶楽部」は、人と人、自然と人がつながる、新しい「生き方」を提案します。急か急かした時間を抜けて、自然のリズムに心癒されながら「過」ごしませんか、と。

「旧暦」に根ざしたこの土地に「里創人」を創り、人と人、自然と人がつながる「生き方」を目指す

# ing

02

里創人 熊野倶楽部

現 在 進 行 形

三重県紀南中核的交流施設整備事業として、  
2007年3月にスタートした「里創人 熊野倶楽部」建設計画。  
ここでは、2009年7月のオープンに向けての進捗状況をご報告してまいります。

### 01 『里創人 熊野倶楽部』のホームページを開いたしました。

去る3月14日、「熊野倶楽部」のホームページがオープンいたしました。  
ホームページ内では、「紀南中核的交流施設整備事業」のこれまでの経緯や、「熊野倶楽部」の施設構想などを掲載。  
また、開業準備スタッフによる雑記帳(ブログ)も公開中で、熊野地域のイベント情報や、季節のお便りなどをお届けしています。



「里創人 熊野倶楽部」ホームページ <http://kumanoclub.jp>

※ブログの記事には「熊野倶楽部」のテーマでもある「旧暦」での日付表示も記載しています。

### 02 紀南地域活性化への思いを一つにするために、『熊野倶楽部の会』発足。

地域の皆さまと事業者が思いをひとつにしなが、紀南地域の活性化をより具体的に推進していくため、去る4月22日、「熊野倶楽部の会(仮称)」を発足いたしました。  
この会では、熊野地域活性化を願う仲間たちが集い、そして互いに理解し合い、知恵を出し合いながら、土地の力を醸成。  
熊野という土地の持つ豊かな自然環境、歴史、文化、食、そして人の魅力を最大限に引き出し、地域全体が元気になることを目指します。

### 03 来訪者の方々にご参加いただく体験プログラムについて、鋭意整備進行中です。

人と人が、心と心でつながる場所をめざす「里創人 熊野倶楽部」で大きな目玉となるのが、熊野地域の住民の皆さまと熊野来訪者の皆さまの出会いのきっかけとなる、参加型体験プログラム。かねてより、ご協力いただける有志の皆さまを募ってまいりましたが、「私なら、こんなことを教えてあげられる」「こんなところへご案内しますよ」といったうれしいご提案を数多くいただき、現段階で下記のようなプログラムの実施が固まりつつあります。これらはまだほんの一部で、今後も引き続き、熊野ならではの体験プログラムの発掘と実施に向けた調整を行ってまいります。  
意欲ある方は奮ってご提案ください。

#### 「里創人 熊野倶楽部」体験プログラム 第1弾 発表

- 微笑みのフォトグラファー堀部正枝さんと撮り歩く熊野の自然景観
- 熊野川体感塾塾長・谷上嘉一さん主宰の三反帆でめぐる熊野川自然体感ツアー
- 「遊木・海と自然のクラブ」のケンケン漁とタコかご漁体験
- 熊野の磯釣り名人が手取り足取りキス釣りハウツー
- 「ひゃくしょう・辻」の手作りシフォンケーキとママレード
- 熊野のベテラン主婦・中森玉子さんと作る美味しい紀州熊野さんま寿し
- くまの体験企画が案内する山と海の熊野古道
- 西垣内弘さんが手ほどきする伊勢型紙の技
- アロマハウスkaranのアロマボディトリートメント
- パラグライダー入門体験と熊野灘の上空悠久散歩
- ツリーハウスづくり/熊野の樹上でホビータイム

(5月31日現在)

## 求む、熊野モノ。

「熊野倶楽部」でいきいき輝く、いろんなモノを探しています。

この度「熊野倶楽部」では、「スローライフ」「エコロジー」、あるいは「旧暦」といった趣を表現してくれそうな家具や調度品をはじめとするさまざまな「モノ」を熊野地域から広く募ります。  
ご自身で手作りされた家具、手芸品、陶器のほか、ご自宅に眠っている古道具など、どんなものでもかまいません。もちろんプロ・アマは問いません。  
丹誠こめて手作りしたご自身の作品、飾る場所がなくて困っていた年代物の物品を、「熊野倶楽部」施設内で多くの人に目にさせていただくチャンスでもあります。ぜひ奮ってご応募ください。



#### こんなモノを求めています

**家具・調度品関連**

書 飾り籠 各種オブジェ テーブル 椅子 小物入れ 花瓶  
灰皿 傘立て 下駄 アロマポット ティッシュBOX ほか

**食器・風呂場用品関連**

グラス 皿 箸 テーブルクロス  
箸置き 風呂桶 浴用椅子 ほか

**熊野らしくて古めかしいもの(空間演出)**

古道具 古い農機具 古い着物  
古時計 ほか

※上記以外にも、「こんなところにこんなモノを使っては？」といったご提案も大歓迎です！

#### 応募方法

FAX、郵送もしくはEメールにてご応募ください。  
下記必要事項を明記し、作品の写真を同封(メールの場合はJPG画像を添付)してください。

- ①お名前(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号
- ②商品名
- ③商品の説明
- ④施設内での使い道 (記入例:客室テーブルの上のテーブルクロス)
- ⑤買い取り希望価格

<応募先> ・FAXの場合:0597-88-2046 「求む、熊野モノ。」作品応募  
・郵送の場合:〒519-4326 熊野市久生屋町1098-1 小林アパート201  
熊野倶楽部 開業準備室「求む、熊野モノ。」係  
・メールの場合:info@kumanoclub.jp [件名]「求む、熊野モノ。」作品応募

<応募締切> 2008年8月20日(水)必着  
<審査について>  
ご応募締切後に審査を行い、応募者全員に結果をご報告いたします。  
採用物品については個別にご連絡の上、価格や製作期間、納入方法、納入時期などの協議を行います。  
尚、採用物品については「熊野倶楽部通信」紙面でもご紹介いたします。



「里創人 熊野倶楽部」  
開業準備室:〒519-4326 三重県熊野市久生屋町1098-1 小林アパート201  
tel.0597-88-2045(担当森岡) fax.0597-88-2046  
事業主体者:株式会社エムアンドエムサービス  
[本社]〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル tel.06-6222-1051  
[東京事務所]〒104-0045 東京都中央区築地1-9-2 イセツネビル tel.03-3547-0151  
<http://kumanoclub.jp>



一流企業の保養所・公共の宿、賢く利用。お宿ねっと  
<http://www.oyadonet.com>  
0120-446-337 (月~金 10:00~17:00)